

第23回長野市公共施設適正化検討委員会 議事要旨	
開催日時	平成29年3月28日（火） 16:00～17:00
場 所	長野市役所第二庁舎10階 会議室203
出席者	[委員] 松岡委員長、神田副委員長、太田委員、片山委員、清水委員、西堀委員、西村委員 [事務局（行政管理課）] 丸山行政管理課長、村上行政管理課長補佐兼公共施設マネジメント推進室長、大塚行政管理課長補佐、渡辺行政管理課係長、竹内行政管理課主事 [事務局支援] 一般財団法人長野経済研究所：折井研究員
議 事	(1) 平成29年度の取り組みについて (2) PPP/PFI手法導入優先的検討方針について (3) その他

【次 第】

- 1 開 会
- 2 委員長あいさつ
- 3 議 事

【審議事項】

- (1) 平成29年度の取り組みについて
- (2) PPP/PFI手法導入優先的検討方針について
- (3) その他

- 4 閉 会

【開 会】

委員長あいさつ

〔松岡委員長からあいさつ〕

議 事

(1) 平成29年度の取り組みについて

〔資料1～2について事務局より説明〕

委 員 長 資料2の6Pに「きらめき隊員」と「地域おこし協力隊員」とあるが、任期などはあるのか。

事 務 局 きらめき隊員については、市職員（支所長補佐）であるので、人事異動の中で変わっていくことになる。地域おこし協力隊員については、国の支援制度により、首都圏から地方の地域おこしに興味のある人を募集して人選をしている。任期は3年であり、現在芋井地区には2名の隊員がいる。

委 員 旧芋井小学校第一分校や飯綱高原エリアは別途協議となっているが、飯綱高原については芋井地区だけの問題ではないと思うが、どのような形で協議を進めていくのか。

事務局 飯綱高原については、観光施設の活用策・活性化について、市観光振興課と地元住民との間で検討を行っている。内容としては、スキー場だけでなく、グリーンシーズンの観光客を増やそうということで議論を行っている。飯綱地区自体に公共施設はあまりない。第一分校については、地元だけで活用していくにはハードルが高いため、行政が主体となって企業誘致などを含め様々な可能性を検討していく。

委員 飯綱については、観光施設の有効活用と充実をテーマに議論しているが、延長線上には、定住人口を増やすという目的も含まれている。芋井地区の公共施設と観光施設の相乗効果をいかに生み出していかかということも含めて検討しているところである。行政としても、縦割りではなく庁舎横断的な連携が重要になる。

(2) PPP/PFI 手法導入優先的検討方針について

〔資料3について事務局より説明〕

委員 他市の具体的な事例などはあるか。

事務局 須坂市で新たな給食センターを建設する際に PFI 手法を導入している。小規模なものとしては、学校のエアコンをまとめて導入する際に PFI 手法を活用するといった事例など全国的に事例は多数あると聞いている。

委員 静岡県浜松市では、フランスの専門家に下水道のコンセッションをしていたり、松本市でも、いち早く PFI 手法を導入して民間活力の活用を図っている。長野市でも温湯温泉で PFI 手法を導入したが、当時はなかなかなじまないやり方であったと思う。今の時代の流れとしては、国が方針を示しているように、公民連携の考え方で事業を進めていかないとはいけませんが、PFI 手法は民間でも研究が必要であり、簡単にできるものではない。

【閉 会】